

「わが家の電気・ガス料金しらべ」

報告書

（8 月分）

2017 年 10 月



日本生活協同組合連合会

総合運営本部 政策企画部

調査の概要

1. 調査の目的

日本生協連では、昨年4月の「電力の全面自由化」に伴い、「わが家の電気・ガス料金しらべ」を実施しました。昨年は、電気・ガス料金に関わる実態を明らかにして、社会的に公表するとともに、調査結果をもとにLPガスの料金透明化・取引適正化に関わる要望書を政府に提出し、LPガス業者向けのガイドラインの制定に貢献することができました。

今年も4月に「都市ガスの全面自由化」がはじまるなど、暮らしに関わるエネルギーの情勢が大きく動いている状況を踏まえ、「わが家の電気・ガス料金しらべ」を継続実施しました。今回は、5月分に引き続き、8月分の電気・ガス料金について、調査を行いました。

2. 実施方法

調査専用の Web サイト、「わが家の電気・ガス料金しらべ」（スマートフォン、パソコン両方に対応）を設置し、インターネットで調査を行いました。組合員が契約している、電気・ガス（都市ガス、LPガス）の料金や事業者名について、8月分の領収書を見ながら入力いただき、都道府県別に状況を集約しました。

今回の報告書は、8月の請求書（領収書）をもとに、9月1日～30日までの調査期間中に回答いただいたデータを分析しました。

3. 調査対象

（1）インターネットモニターによる調査

日本生協連のインターネットモニター（全国約4,500名）に、Eメール配信し、ご協力をお願いしました。

（2）県連・会員生協の学習活動と結びつけた調査

組合員の学習活動などとあわせて、組合員向け諸会議資料やメールマガジンなどで、組合員向けに調査協力の呼びかけをしました。

4. 回収状況

上記3.の（1）と（2）の呼びかけを行ったところ、9月1日～30日の期間中に、1,981件の回答をいただきました。そのうちの1,930件を有効回答とし、分析を行いました。

調査結果の特徴

1. 電力自由化に関わって

- 電力自由化以降、電力会社を替えた方は、全体の 13.5%と、今年 5 月分の調査からさらに 1.8 ポイント増加し、着実に切り替えが進んでいることが明らかとなった。一方で、「切り替える予定はない」と回答した方が、昨年 5 月の調査から常に 6 割以上いる。
- 切り替える予定がない理由としては、「メリットを感じない」と回答した方が 52%、他の電力会社・料金メニューについて「調べることがめんどろ」が 21%、「比較検討が複雑でよくわからない」が 17%だった。

2. 都市ガスの自由化に関わって

- 都市ガス自由化の認知度について、「知っている」と回答した割合は 73%と今年の 5 月から増えていない。地域間格差がきわめて大きく、「知っている」と回答した割合が、近畿で 89%、関東で 82%と高かった一方で、四国では 27%、中国では 45%、東北では 47%と、半数以上が「知らない」。都市ガスの使用の有無で比較すると、使用していて「知っている」と回答した方は 88%だった。(使用していなくて「知っている」と回答した方は 57%。)
- 都市ガスの切り替えについて、「新しいガス会社に切り替えた」が 6% (5 月 : 5%)、「メニューを切り替えた」が 8% (5 月 : 7%)、「切り替えたいと思っているが、検討中」が 17% (5 月 : 21%) という結果で、5 月から切り替えがほとんど進んでいない。地域間格差も大きく、「新しいガス会社に切り替えた」が近畿では 11%、九州では 9%である一方、北海道、東北、中国、四国は新規参入事業者がなく、「新しいガス会社に切り替えた」は 0%だった。

3. LP ガスの料金や契約時書面の交付に関わって

- LP ガスが自由化されていることについて聞いたところ、知っていると回答した割合は 41%で、都市ガスの自由化の認知度よりさらに低い割合だった。LP ガスの使用の有無で比較すると、使用している方の中でも「知っている」と回答した方は約 60%にすぎず、約 40%の方が「知らない」と回答している。
- LP ガスの料金は、都市ガスの料金よりも月平均で 902 円高く、家庭によっても大きくバラツキがある (料金差がきわめて大きい)。
- 都市ガスと LP ガスの月額料金を住宅別に比較すると、集合住宅 (賃貸) では、都市ガスが 3,096 円だったのに対して、LP ガスでは 5,237 円と著しく高くなっている。戸建では、月額料金でみると、都市ガスと LP ガスには大きな差はなかったが、LP ガスの戸建では灯油と併用している世帯が多く、カロリー換算した月額使用量では、都市ガスよりも LP ガスの方がかなり低いため、1 m³単価で比較すると、LP ガス料金がかなり高くなっている。
- LP ガスの契約時の書面について、「保管してある」が 43%、「もらったがなくした」が 24%、「もらった覚えがない」が 30%で、過半数の方が手元にないと回答している。

調査結果

1. 回答者の概要について

(1) 都道府県別 回答数

8月分における回答者は、1,981件となった。そのうち1,930件を有効回答とし分析を行った。都道府県別にみると、兵庫県が283件で最も多く、大阪府が202件、宮城県が133件、北海道が131件、福岡県が113件、東京都が110件と続いた。

都道府県別 回答数（件）

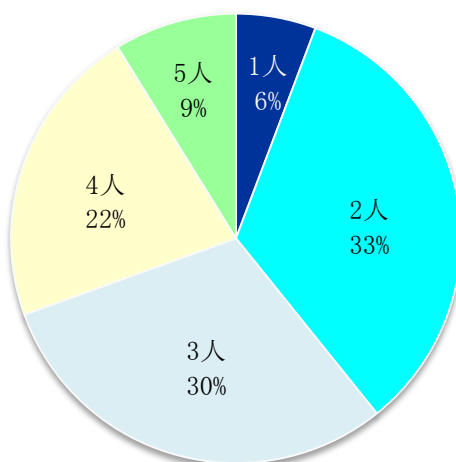
北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
131	69	35	133	12	15	10	29
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
19	20	75	74	110	71	22	8
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
11	5	10	23	34	32	80	28
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
12	31	202	283	15	6	9	10
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
29	31	15	5	5	11	5	113
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
7	19	12	20	0	34	0	1,930

(2) 家族人数

家族人数は、2人家族が646件で33%と最も多く、3人家族が584件で30%と続いた。

家族人数	1人	2人	3人	4人	5人
件	111	646	584	419	170

家族人数

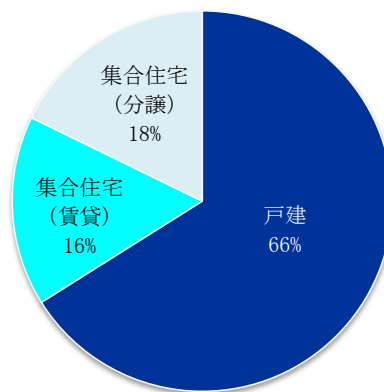


(3) 住宅（戸建、集合住宅）

住宅は、戸建が1,275で66%、集合住宅（分譲）が343件で18%、集合住宅（賃貸）が312件で16%だった。

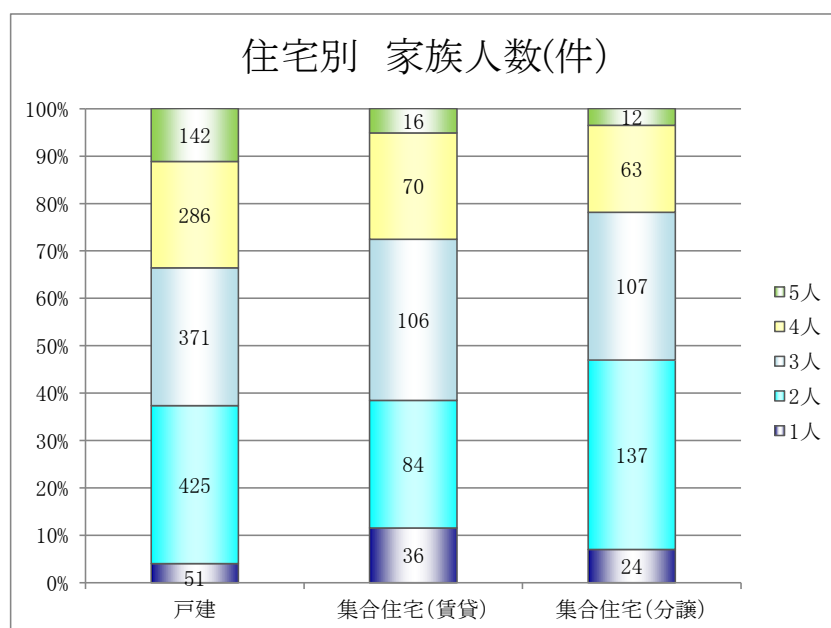
	戸建	集合住宅(賃貸)	集合住宅(分譲)
件	1275	312	343

住宅の種類



(4) 住宅別 家族人数

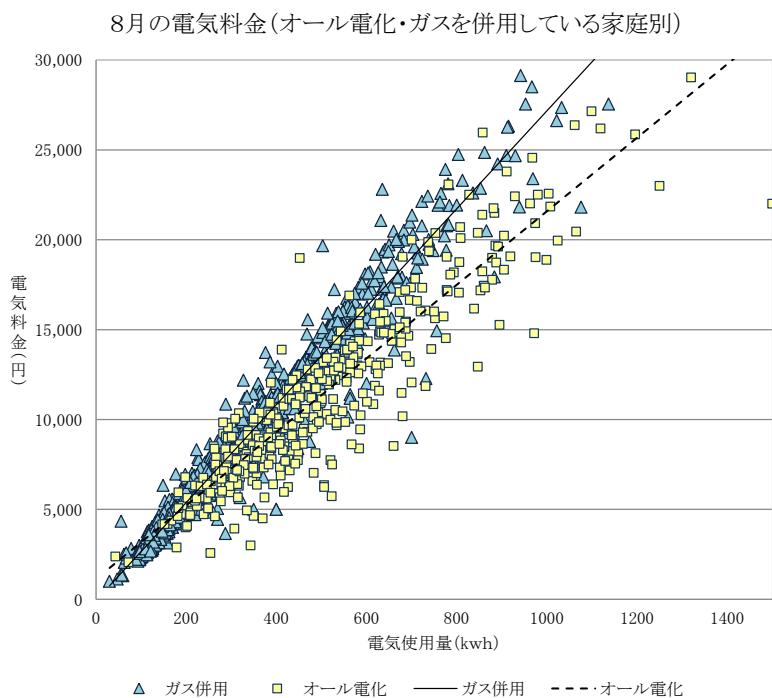
家族人数を住宅別（戸建、集合住宅（賃貸）、集合住宅（分譲））にみると、2人家族、3人家族、4人家族の割合が比較的多い。戸建では、5人家族の割合が10%以上と、ほかの住居形態より多い傾向である。



2. 電気料金について

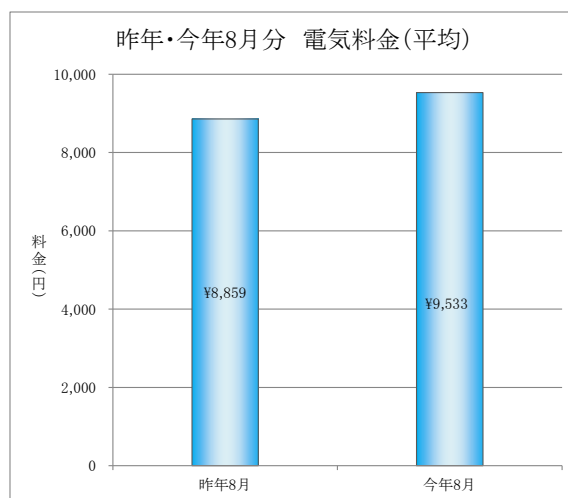
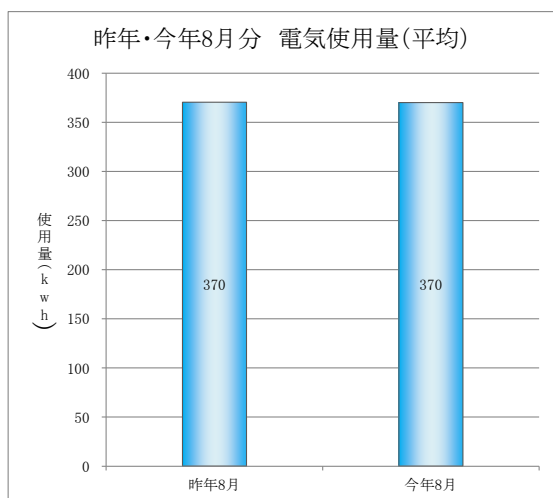
(1) 電気料金

8月の電気の使用量の平均は 376.4kwh、平均料金は 9,648 円だった。なお、オール電化の料金分布のバラツキについては、太陽光発電で売電などを行い電気代を抑えられている世帯などがあることなどが要因となっていると考えられる。



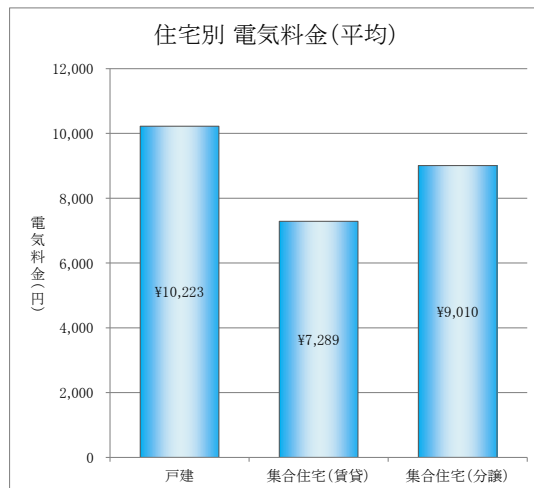
(2) 電気使用量と料金(今年8月と昨年8月の比較)

電気使用量と料金の平均を昨年の8月と比較すると、今年8月の方が使用量は横ばいだったが、料金は 7.6%高くなっている。料金の平均が高くなった原因は、再エネ賦課金と燃料調整単価の値上がりによるものであると考えられる。



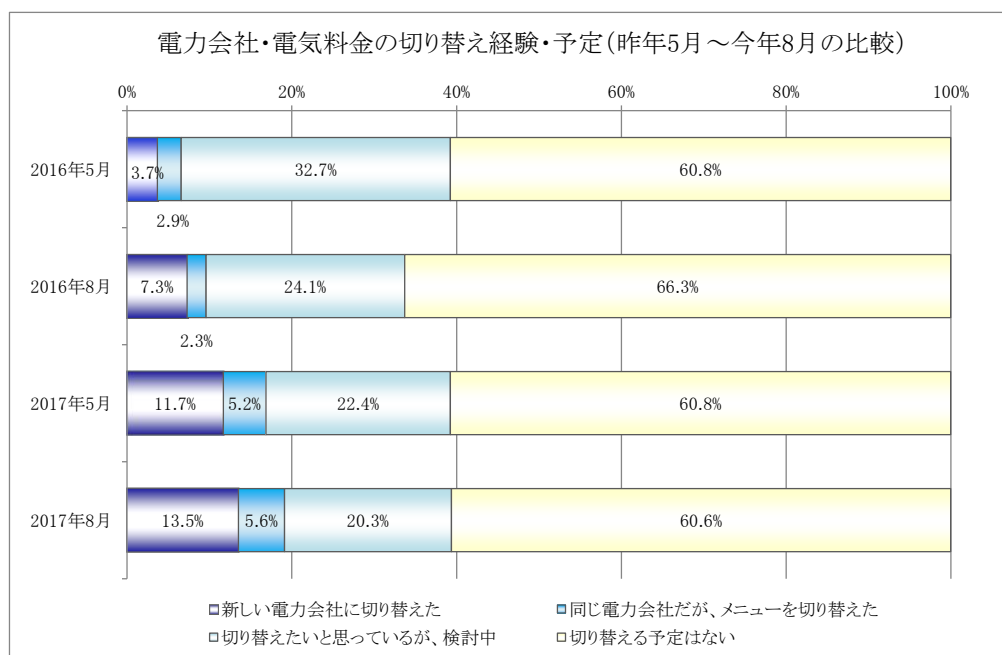
(3) 電気料金（住宅別）

電気料金を住宅別にみると、戸建が平均 10,223 円（平均使用量 404.6kwh）であり、集合住宅（分譲）が平均 9,010 円（平均使用量 350.8kwh）、集合住宅（賃貸）が平均 7,289 円（平均使用量 289.4kwh）だった。それぞれの電気料金は電気の使用量にほぼ対応している。



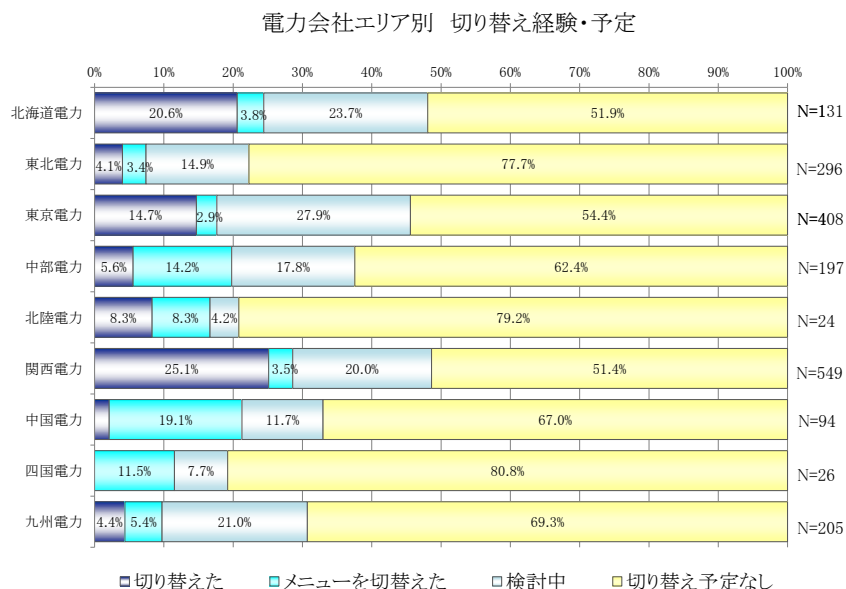
(4) 電力会社・電気料金の切り替え経験・予定（推移）

電力会社・電気料金の切り替え経験・予定の推移について、16 年 5 月から 17 年 8 月にかけて、「新しい電力会社に切り替えた」が 3.7%から 13.5%に、「同じ電力会社だが、メニューを切り替えた」が 2.9%から 5.6%に増加した。一方、「切り替えたいと思っているが、検討中」が 32.7%から 20.3%と減少しており、検討していた世帯が実際に切り替えを実施したことが推測できる。また、「切り替える予定なし」との回答は常に 6 割以上いる。



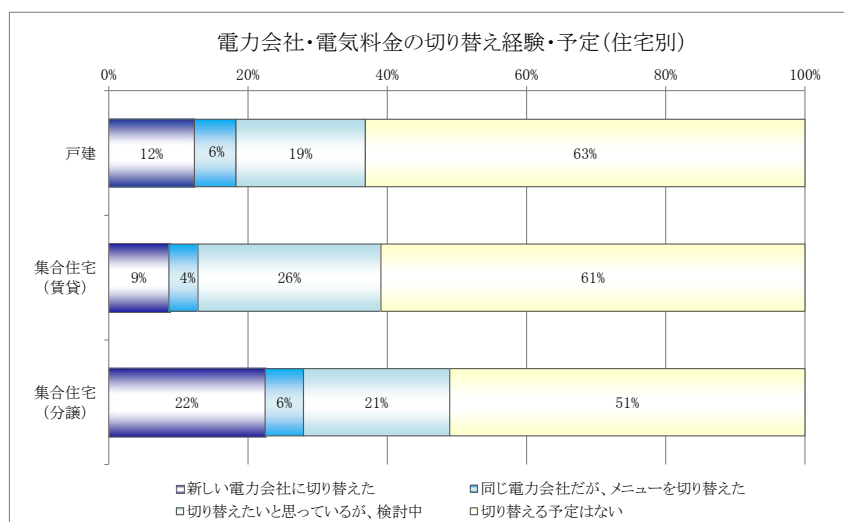
（５）今後の電力会社・電気料金の切り替え予定（電力会社別）

電力会社エリア別でみると、関西電力エリアで 25.1%、北海道電力エリアで 20.6%、電力会社を切り替えており、ついで東京電力エリアで 14.7%となっている。他方で、四国電力エリアでは電力会社の切り替えは 0 だった。電力会社を切り替えるかどうかを検討中の回答者も、地域間で格差がかなり見られた。



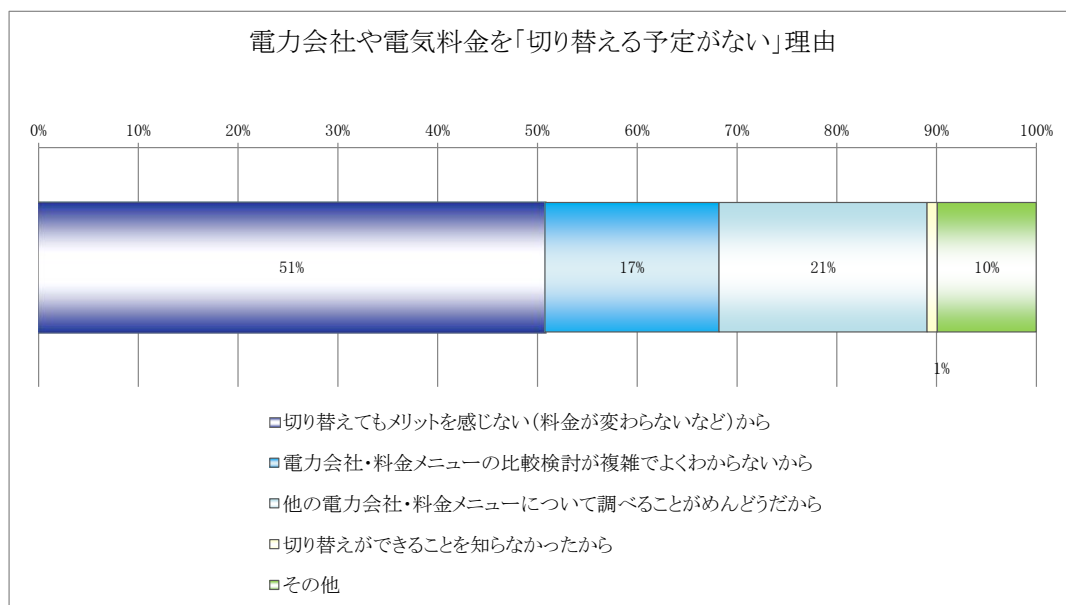
（６）今後の電力会社・電気料金の切り替え予定（住宅別）

住宅別にみると、切り替えを実施したのは、集合住宅（分譲）が一番高かった。また、「切り替えたいと思っているが、検討中」と回答したのは、集合住宅（賃貸）が一番多かった。「切り替える予定はない」割合は、戸建が一番多かった。



(7) 電力会社や電気料金を「切り替える予定がない」理由

「電力会社・電気料金の切り替え経験・予定」について、「切り替える予定がない」と回答した回答者のみ、切り替える予定がない理由について聞いた。「切り替えてもメリットを感じないから」が52%。ついで、他の電力会社・料金メニューについて「調べることがめんどうだから」が21%、「比較検討が複雑でよくわからないから」が17%となっている。切り替えを促進するには、魅力ある料金メニューの提案や、消費者に対してわかりやすい情報提供を行うことが、事業者には求められる。



○「切り替える予定がない」理由の中で「その他」を選択された回答者のコメントとしては、以下のようなのがあった。

【戸建】

- ・太陽光発電の買取があるので、切り替えは考えていない。
- ・いくつか試算を出してもらったが、ハイシーズン以外の消費量が少なくお得になる会社がみつからなかったため。
- ・オール電化の時間帯契約をしている。以前相談したら変更不可と言われたから。
- ・近くに比較を検討できる電力会社がなく、やむを得ず従来通りで契約している。
- ・深夜電力、電化上手がよそにはない。
- ・離島なので選択できない。

【集合住宅（賃貸）】

- ・賃貸なので、またすぐ引っ越しするので面倒くさいから。
- ・マンションで統一しているため。
- ・社宅なので勝手に変えられないため。
- ・ガスを切り替えてセット割にしているため。

【集合住宅（分譲）】

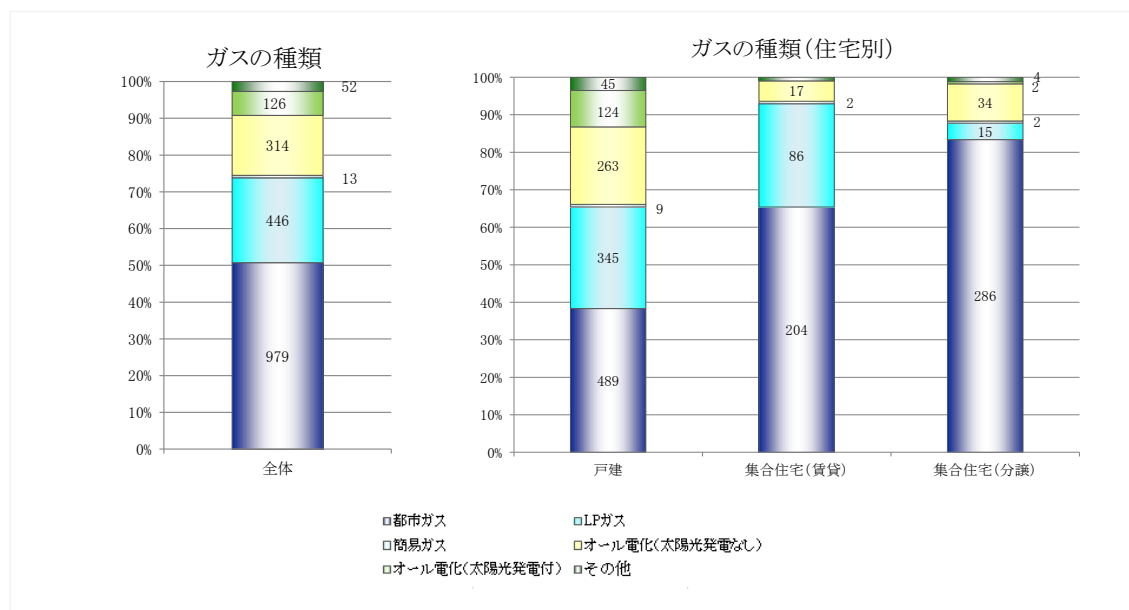
- ・分譲マンションで一括受電のため
- ・太陽光発電を導入しているため
- ・老人世帯なので解約の場合の違約金などの問題が不明瞭

3. ガス料金について

(1) ガスの種類

使用しているガスを種類別にみると（一番左のグラフ）、都市ガスが 979 件で 50%と最も多く、次いで LP ガスが 446 件で 23%、オール電化（太陽光発電なし）が 314 件で 17%と続いている。

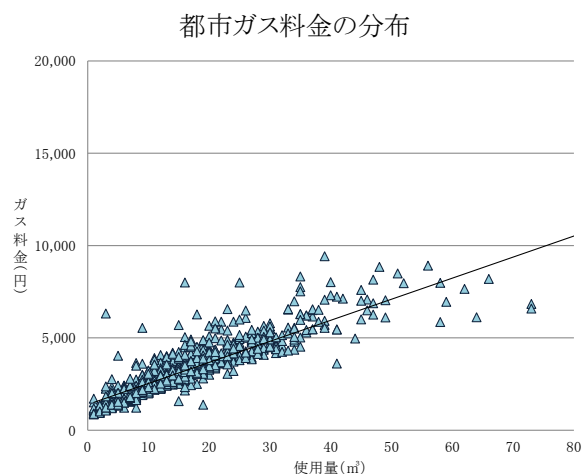
使用しているガスの種類を住宅別にみると、都市ガスについては、戸建が 489 件で 40%、集合住宅（賃貸）では 204 件で 65%、集合住宅（分譲）では 286 件で 83%となっている。LP ガスは、戸建が 345 件で 27%、集合住宅（賃貸）で 86 件で 28%である一方、集合住宅（分譲）では 15 件で 4%と、他と比較して著しく低い。



※その他には、ガスの代わりに灯油を使用されている世帯などが含まれています。

(2) 都市ガスの料金

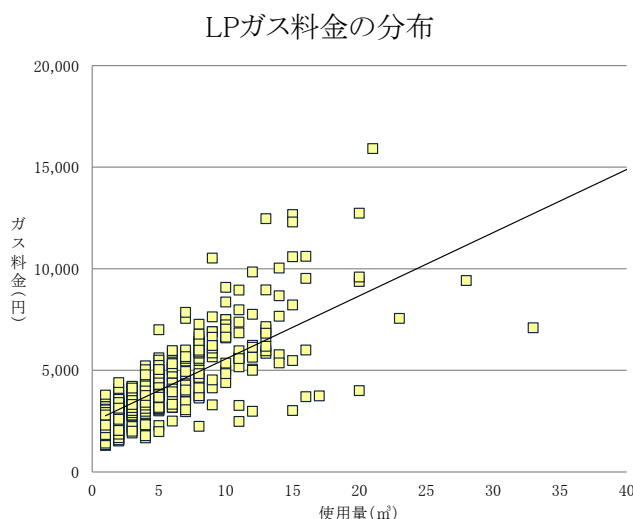
都市ガスの使用量の平均は 16.1 m³で、平均料金は 3,237 円だった。料金の分布をみると、使用量によって価格は比例しており、家庭によって大きなバラツキも見られなかった。



(3) LP ガスの料金

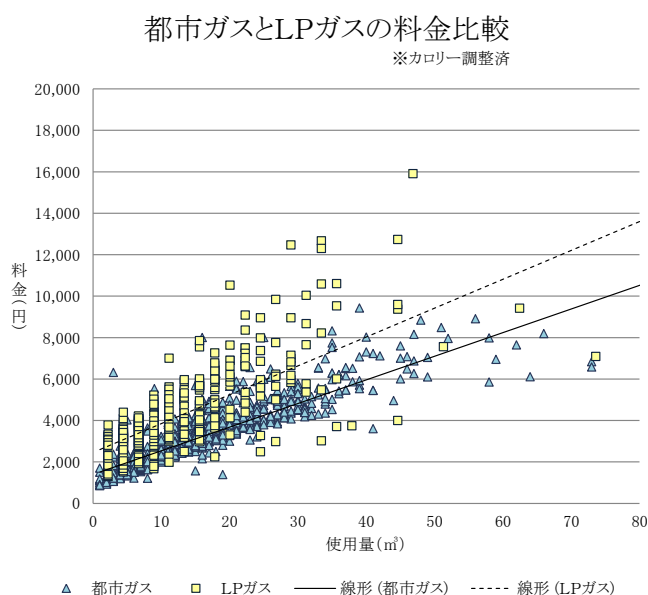
LP ガス使用量の平均は 5.4 m³（昨年 8 月分は平均 6.1 m³）で、平均料金は 4,139 円（昨年 8 月分は平均料金 4,363 円）だった。都市ガスの平均料金と比較すると、LP ガスの方が 902 円高かった。また、料金の分布をみると、家庭によって大きなバラツキがみられた。同じ量を使用している世帯でも、料金は最低と最高で大きな差がみられた。

LP ガスの 1 m³あたりの料金については、今年の 8 月は 1,116 円となっており、昨年 8 月 1,139 円と大きな変化はなかった。



(4) 都市ガスとLPガスの料金の比較

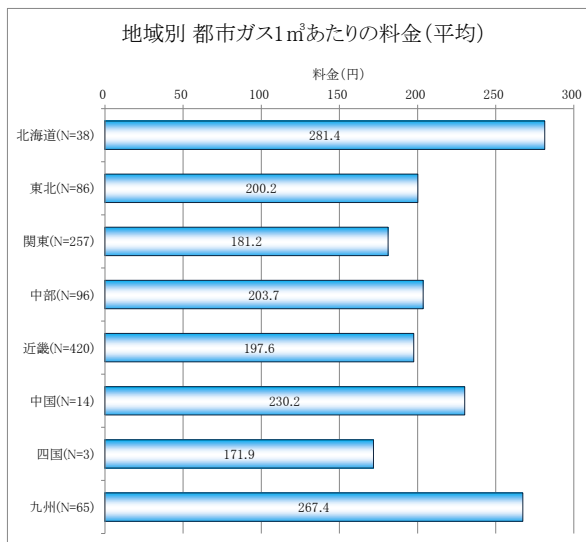
都市ガスの料金と、LP ガスの料金の比較を行った。都市ガスと LP ガスはカロリー（熱量）が異なるため（都市ガスが約 10,740kcal/m³、LP ガスが約 24,000kcal/m³）、LP ガスの使用量(m³)を 2.23 倍し、分布図を重ねた。その結果、LP ガスは都市ガスに比べて料金が高く、LP ガスは、都市ガスに比べて各家庭によって料金のバラツキが大きかった。



(5) 都市ガスの料金（地域別）

都市ガスの1 m³あたりの料金について、地域別に比較した。他のエリアと比較して、北海道と九州エリアは使用量が少なく、1 m³あたりの料金が比較的高かった。使用量が少ないと、基本料金の占める割合が高くなることから、1 m³あたりの料金も上がる傾向にある。

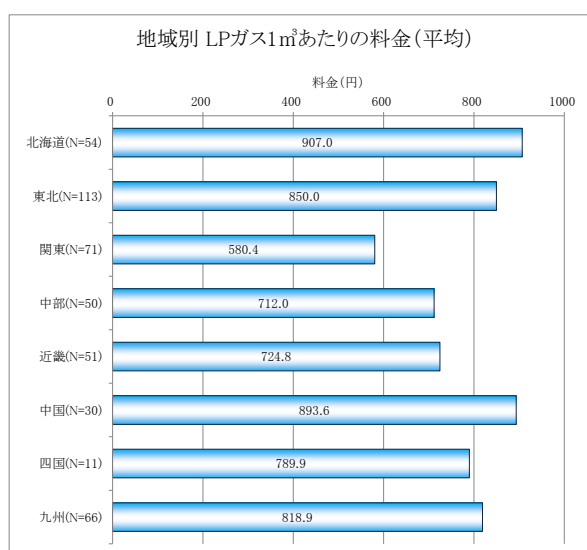
	使用量平均 (m ³)	料金平均 (円)
北海道	11.1	3,118
東北	19.8	3,967
関東	16.9	3,062
中部	18.7	3,810
近畿	15.1	2,989
中国	22.2	5,114
四国	20.0	3,437
九州	12.6	3,374



(6) LPガスの料金（地域別）

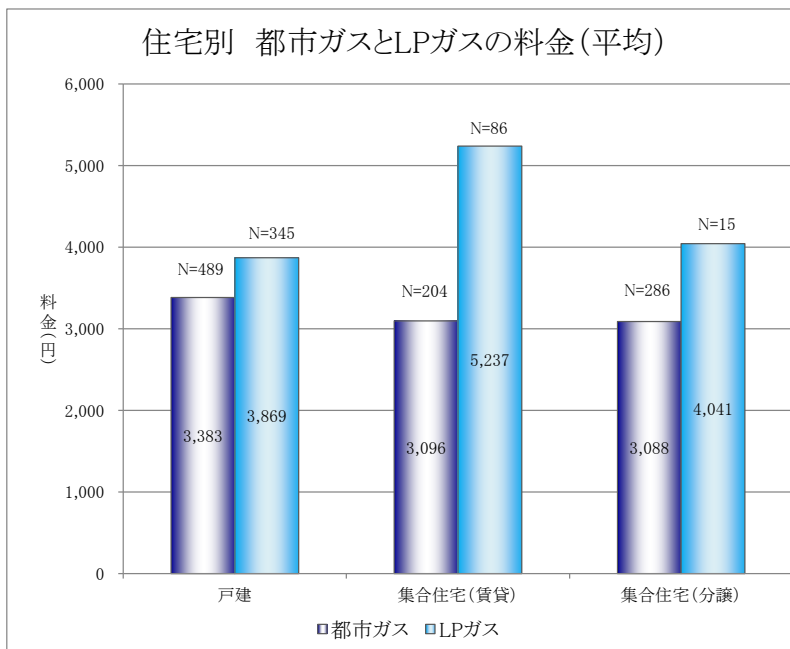
LPガスの1 m³あたりの料金について、地域別に比較した。北海道、中国エリアは、1 m³あたりの料金がきわめて高くなっている。また、東北、九州エリアも1 m³あたりの料金も比較的高い。使用量が少ないと、基本料金の占める割合が高くなることから、1 m³あたりの料金も上がる傾向にある。

	使用量平均 (m ³)	料金平均 (円)
北海道	4.7	4,266
東北	4.6	3,882
関東	6.6	3,850
中部	7.0	4,956
近畿	6.0	4,349
中国	5.0	4,468
四国	4.6	3,662
九州	4.8	3,933



(7) 都市ガスとLPガスの料金の比較（住宅別）

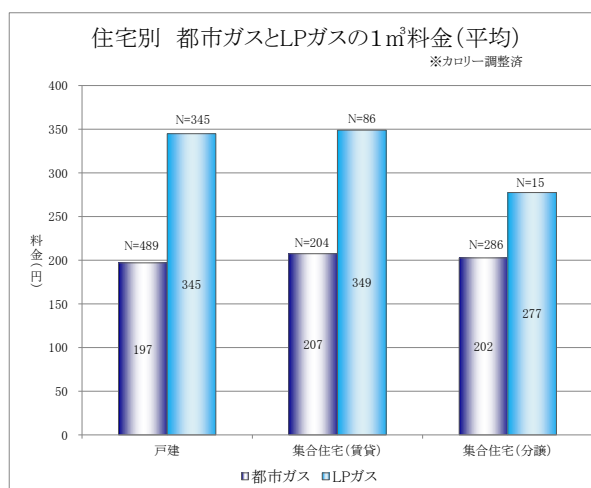
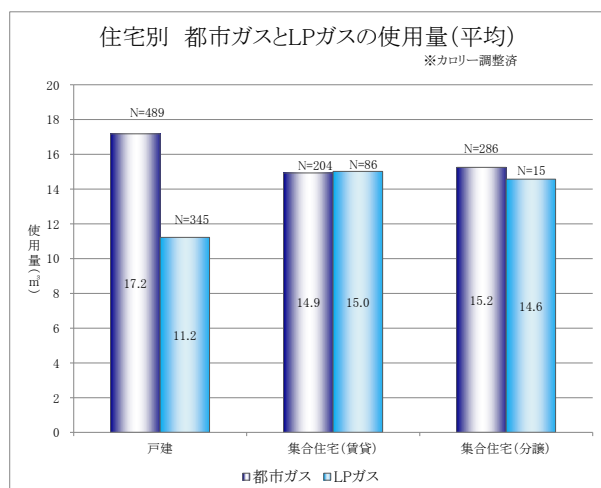
都市ガスの料金とLPガスの料金を住宅別に比較した。戸建は都市ガスが3,383円、LPガスが3,869円、集合住宅（賃貸）は都市ガスが3,096円、LPガスが5,237円、集合住宅（分譲）は都市ガスが3,088円、LPガスが4,041円と、LPガスの方が高い。



(8) 都市ガスとLPガスの使用量と料金の単価比較（住宅別）

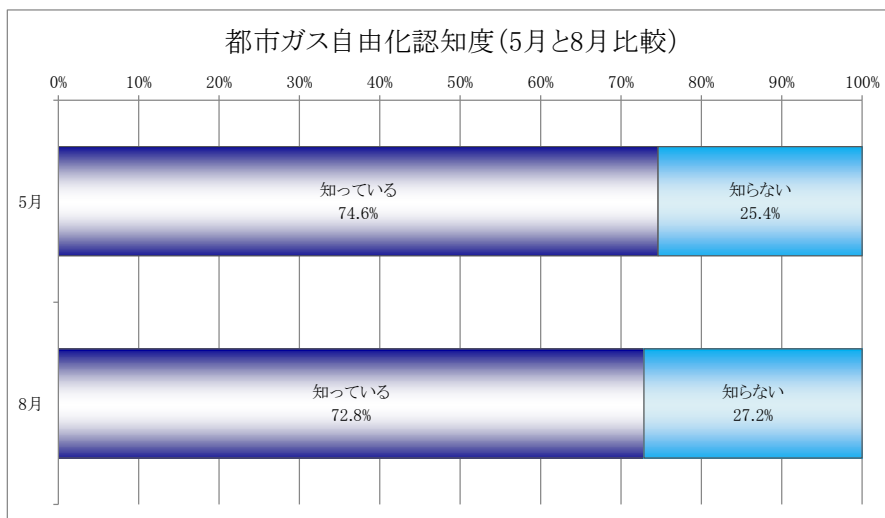
カロリー調整をして（LPガスの使用量（ m^3 ）を2.23倍）、都市ガスとLPガスの使用量を比較した。戸建において、都市ガスと比べると、LPガス使用量の平均が著しく低い。LPガスを使用している戸建については、灯油を併用している関係で、LPガスの使用量が著しく低い世帯が多いことが影響していると思われる。

また、平均料金をカロリー調整した使用量で割り、1 m^3 あたりの料金を都市ガスとLPガスで比較すると、戸建と集合住宅のいずれもLPガスが都市ガスを大きく上回る結果となっており、戸建と集合住宅（分譲）では、平均料金で比較した場合よりも差が大きくなっている。



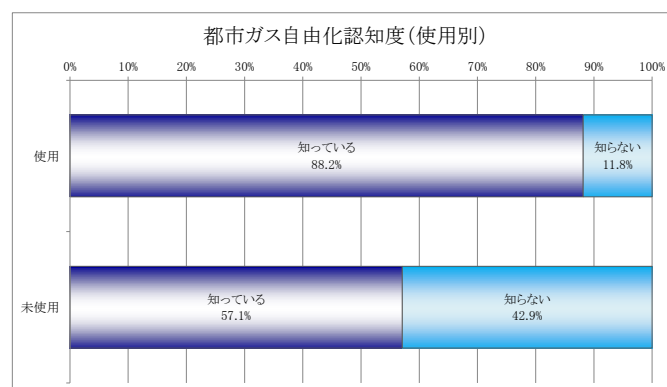
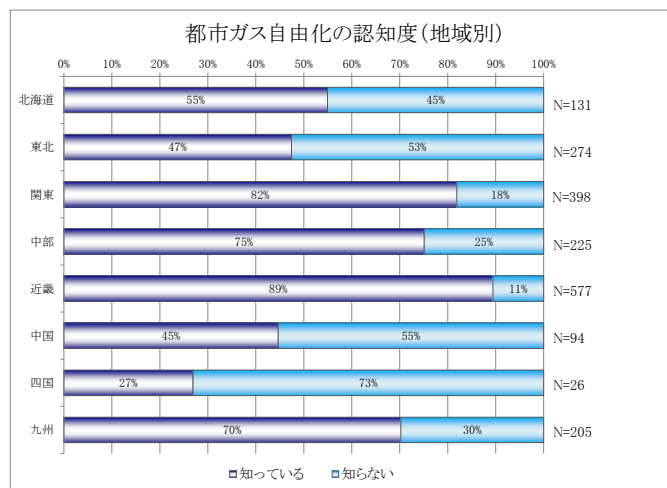
(9) 都市ガス自由化の認知度（5月と8月の比較）

「都市ガス自由化」について聞いたところ、「知っている」と回答した割合が 73%であり、5月の時点から増えていないことが分かった。



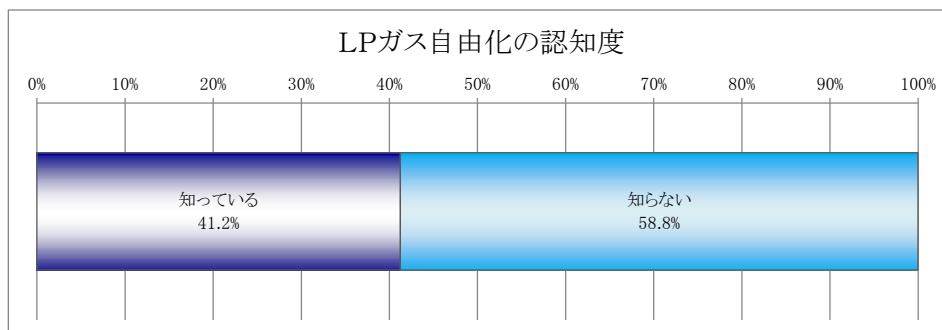
(10) 都市ガス自由化の認知度（地域別、使用別比較）

都市ガス自由化の認知度を地域別にみると、地域間で差がきわめて大きく、知っていると回答した割合が、近畿で 89%、関東で 82%と高かった一方で、四国では 27%、中国では 45%と半数以下だった。使用別の比較では、都市ガスを使用していて「知っている」と回答した方は 88%、使用してなくて「知っている」と回答した方は 57%と、31ポイントの差が出た。



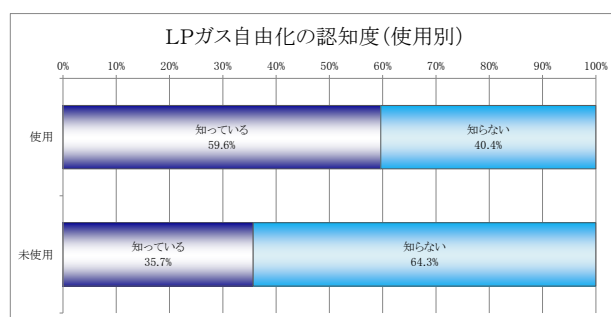
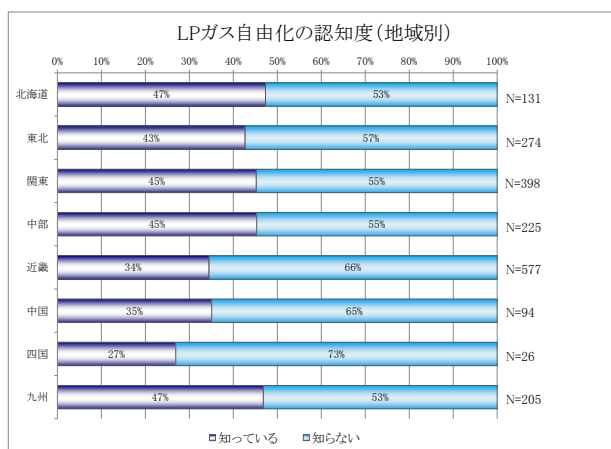
(11) LP ガス自由化の認知度

LP ガスはすでに自由化しており、ガス会社や料金メニューを自分で選ぶことができる。LP ガスの自由化について聞いたところ、知っているという割合は 41%で、都市ガスの自由化の認知度より、さらに低い割合となっている。



(12) LP ガス自由化の認知度（地域別、使用別の比較）

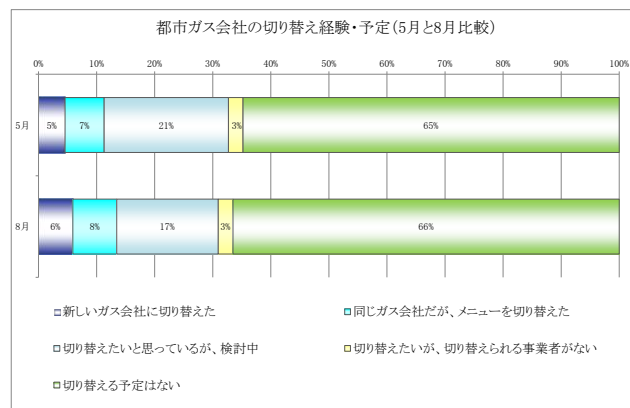
LP ガス自由化の認知度を地域別に比較すると、「知っている」と回答した割合は、全エリアで 50%に満たない。使用別の比較では、LP ガスを使用していて「知っている」と回答した方は 60%、使用してなくて「知っている」と回答した方は 36%と、都市ガスと同様、大きな差が出た。



(13) 都市ガス会社・メニューの切り替え経験・予定（5月と8月の比較）

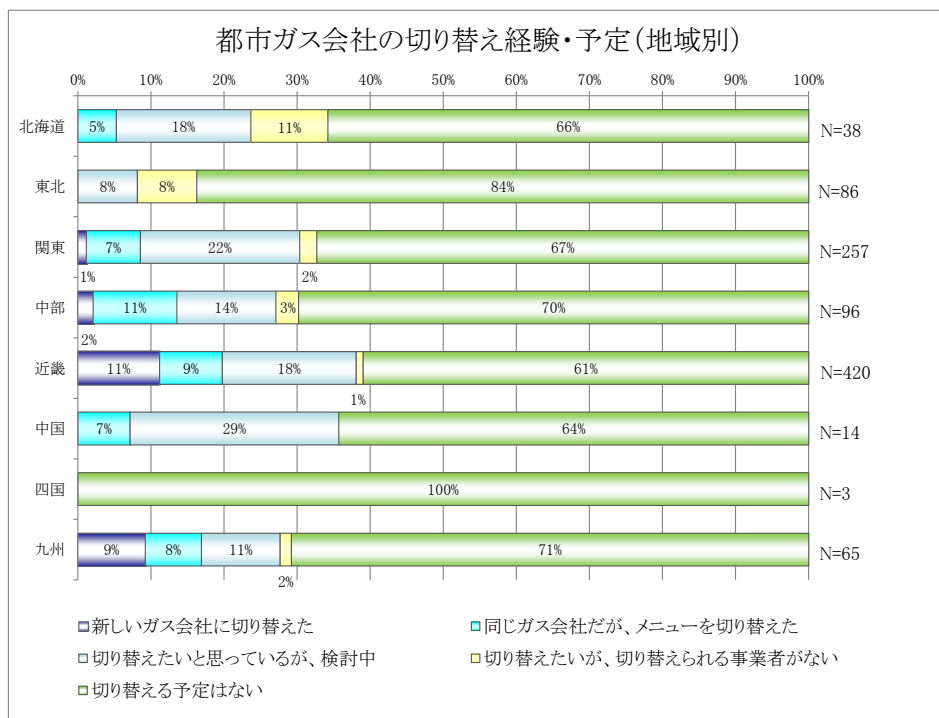
「新しいガス会社に切り替えた」が 58 件で 6%、「同じガス会社だが、メニューを切り替えた」が 74 件で 8%、「切り替えたいと思っているが、検討中」が 171 件で 17%となっており、34%が切り替えたか、切り替えを検討していることが分かった。一方で、「切り替えたいが、切り替えられる事業者がない」が 25 件で 3%となっていた。

5月との比較だと、「新しいガス会社に切り替えた」「メニューを切り替えた」が 1 ポイント増加、「切り替えたいと思っているが、検討中」が 4 ポイント減少している。



(14) 都市ガス会社・メニューの切り替え経験・予定（地域別）

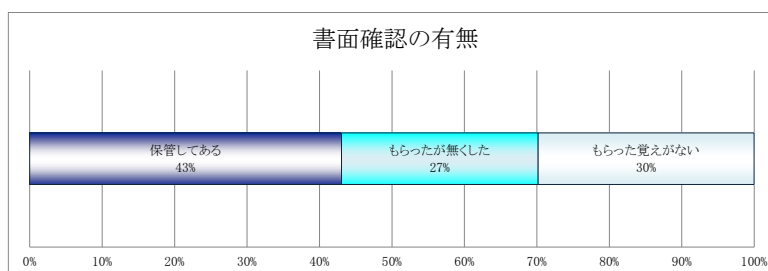
地域別でみると、「新しいガス会社に切り替えた」が近畿で 11%、九州で 9%となっている。北海道、東北、中国、四国は新規参入事業者がなく、「新しいガス会社に切り替えた」は 0%である。「同じガス会社だが、メニューを切り替えた」については、中部で 11%、近畿で 9%、九州で 8%となっている。



(15) 書面確認の有無

LP ガスの販売事業者は、消費者との契約に当たって、配管その他の設備関係の所有権や所有関係及び料金算定方法等の重要事項を消費者に対して十分に説明し、取引等の内容を明確にするために書面の交付を義務づけられている。その書面を販売事業者からもらったどうかについてきいた。回答者のうち、「保管してある」が 192 件で 43%、「もらったが無くした」が 121 件で 27%、「もらった覚えがない」が 133 件で 30%となっており、合計で過半数の方が手元にない状況にあった。昨年 5 月からの調査と同様の傾向となった。

販売事業者からの書面確認の有無	
保管してある	192
もらったが無くした	121
もらった覚えがない	133



4. 自由記入「電気料金・ガス料金について思っていること」

【電気・ガス全般について】

- ・電気の自由化は知っていたが、都市ガスの自由化は知らなかった。どちらもまだまだ既存の大手企業が有利で新規参入の企業が大手企業と競争出来ているとは思えない。もっと様々な企業が参入でき、良い競争が出来て、料金が下がることを願う。
- ・電気ガス両方とも自由化と言いながらも情報は入ってこない。全国版なら検討の余地はあると思うが現住所では聞いたことがない。以前、テレビが地デジに変わる時、いろんな情報機関を通じて流したが、あのぐらいの情報提供は必要ではないか。また、全国的に公平にやってほしい。自分が知らないだけかも知れないが、請求書等の印刷物には無かったと思う。
- ・自由化に伴い切り替えるつもりだった。たまたまガス器具が不具合になり、ガス会社の社員さんといういろいろお話しする機会があり、詳しく勉強する会を紹介された。納得したうえで、ガス会社で電気もまとめて契約した。大きく値下がりしたわけではないが、ガス器具の購入や修理特典もあり、良かったと思う。
- ・住んでいるマンションがガス会社の系列であり、変更出来ない。また、電気もパソコンや電話も一緒のプランであり、変更すると手間がかかる
- ・ガス、電気共に料金の安さのみに注目が集まり、安全供給、将来に向けての確保の手段等がアピールされてないように感じる。
- ・自由化といっても、多く使ってる人だけが切り替えても良い制度なのかなと思う。ガス代も電気代も高い時期と低い時期があり、切り替えてもあまり意味が無いような気がする。今は賃貸マンションに住んでいるし、切り替え手続きも面倒。

【電気について】

- ・同じ使用量でも料金が上下することについて、不安に思う。生活に必要なものなので、安心して生活できるよう低料金が保障されていてほしい。電気やガスの自由化については聞いているが、わが家のように使用量が少ないところは蚊帳の外である。節電や省エネに気をつけているからこそその結果なのに、皮肉だと思う。
- ・個人での切り替えも難しそうな感じで個人で切り替えた後、マンション自体での切替になった場合、解約料金など、どのように発生することになるのかなど不安要素が多く、よくわからない。
- ・再エネ発電賦課金を一般家庭から徴収するのは納得がいかない。また年々高くなっている気がする。

【ガスについて】

- ・都市ガスに比べプロパンガスはすごく高い。プロパンガスしかない地域なので、この値段の差どうにかならないかと思う。
- ・都市ガスへの変更を常々マンション管理会社をお願いしているが、ガス会社と地域との癒着が根強く、この先も変わることはないと思う。自由化とは名ばかりだと感じている。
- ・電気に関しては省エネ製品のお蔭で使用量は少なくなった。ガス製品もそうなってくれたら有難い。

「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査（8月分）調査票



わが家の電気・ガス料金しらべ

生協（コープ）では、昨年4月の「電力自由化」に伴い、「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査を2回（5月分・8月分）実施し、その結果を発表して社会的に問題提起を行ってきました。

今年も、2017年2月には、LPガス業者向けのガイドラインが国から下され、4月からは「都市ガス自由化」がはじまるなど、くらしに関わるエネルギーの情勢は大きく動いています。

これらを踏まえ、2017年5月にも「わが家の電気・ガス料金しらべ」調査を実施し全国より2,200名を超える参加がありました。今回は、電気料金がピークとなる「8月」の電気・ガス料金の調査を行います。

みなさまのご協力をお願いします。

お手元に、2017年8月の電気料金とガス料金の領収書あるいは請求書をご準備の上、「回答する」のボタンを押して、アンケートへの回答をお願いします。

なお、調査項目のeプロフィールの「郵便番号・住所・お名前」までご入力いただいた方の中から、合計100名の方に1,000円の図書カードをお送りいたします。当選は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※当調査における個人情報の取扱は、日本生活協同組合連合会及び調査委託会社での分析、図書カードの抽選・送付のみに使用します。

（日本生活協同組合連合会の情報セキュリティと個人情報保護については[こちら](#)）

回答する

Copyright 日本生活協同組合連合会 All right reserved.

【電気についての設問（電力会社：その他）】

わが家の電気・ガス料金しらべ

必要事項をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。

▽電気についてお伺いいたします

8月の電気使用量

必須

kw

*小数点以下は四捨五入し、整数でご回答ください

【参考】昨年8月の平均使用量：370kw

8月の電気料金

必須

円

【参考】昨年8月の平均料金：8,859円

8月の電力会社名

必須

▽選択してください

電力会社・料金メニューの切り替え経験・予定

必須

▽選択してください

*電力自由化が始まった昨年4月以降、切り替えた経験があれば①もしくは②を選択してください。

【ガスについての設問（ガスの種類：L Pガス）】

ガスの種類 必須 ▽ 選択してください

* 簡易ガスとは、簡易ガス発生設備でガス（主にプロパンガス）を発生させ、70戸以上の戸数などで得着を使って供給しているものです。

8月のガス使用量 必須 m³

* 小数点以下は四捨五入し、整数でご回答ください
 * ガスを使用していない方は、「0」とご入力ください
 【参考】 昨年8月の平均使用量：都市ガス16m³、L Pガス6m³

8月のガス料金 必須 円

* ガスを使用していない方は、「0」とご入力ください
 【参考】 昨年8月の平均料金：都市ガス3,207円、L Pガス4,363円

ガス会社名 必須

2017年の4月から都市ガスの自由化がはじまり、都市ガスの会社や料金メニューを自分で選べるようになりました。都市ガスが自由化されたことをご存知でしたか？

都市ガス自由化 必須 ▽ 選択してください

プロパンガス（L Pガス）はすでに自由化しており、ガス会社や料金メニューを自分で選ぶことが出来ます。このことをご存知でしたか？

プロパンガス（L Pガス）自由化 必須 ▽ 選択してください

▽ ご協力いただける方のみお願いします。

電気・ガス料金について思っていること、感じていることを自由にご記入ください。
 ※ ご使用の電気・ガスの使用量や料金が比較的高い、または低いと感じる方は、理由について何かお心当たりがあればご記入ください。

電気料金・ガス料金について思っていること

【回答者についての設問（プロフィール）】

家族人数 必須 ▽ 選択してください

あなたのお宅は 必須 ▽ 選択してください

お住まいの都道府県 必須 ▽ 選択してください

▽ 図書カードの抽選をご希望される方のみお答えください

以下の郵便番号・住所・お名前までご入力頂いた方の中から、抽選で合計100名の方に1,000円の図書カードをお送りいたします。
 当選は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
 ※ 当調査における個人情報の取得は、日本生活協同組合連合会及び調査委託会社での分析、図書カードの抽選・送付のみに使用します。

郵便番号 〒 -

住所（市区町村等地）

住所（建物名）

お名前

確認画面へ